



薬局 事情

JETRO



ケニア

BOP実態調査レポート

概要

医薬品と化粧品は様々な方法で手に入る。ナイロビでは、次のような業態で販売されている。

薬局

化粧品

自営業薬局／化粧品店

ナイロビで最もよく見られる販売店である。市の中心部のような便利な場所や、住宅街のショッピングセンターとその周辺に多い。

- ・個人所有。フランチャイズの場合も。
- ・多くの店では通常、在庫が十分ではない。
- ・多くの店で医薬品は少し高い。
- ・厳しい規制を受ける。
- ・それとわかる店構えと陳列
- ・市中心部にある薬局は卸売／流通業を兼ねる傾向がある。
- ・調剤を行う店もある。
- ・市販薬と処方箋用の薬の両方を置いている。

- ・個人所有。フランチャイズの店も。
- ・様々なメーカーから仕入れている。
- ・薬局と比べ規制が少ない。
- ・客の目をひく目立つ店構えや陳列
- ・市中心部にある店は卸売／流通業を兼ねる傾向がある。
- ・多くは無資格の専門家による経営であり、専門的な助言を受けることは難しい。
- ・美容院、マッサージ、スキンケアなどの美容サービスを行っている場合もある。

ショップ内の薬局／化粧品店

モールやスーパーマーケットによく見られる形態で、適切に人員が配置され、店の一部分に在庫を置いている。

- ・独立した場所と陳列。
- ・小売販売のみ。
- ・有資格の薬剤師が常駐し、市販薬と処方箋薬の両方を置く。

- ・一般に製品別またはメーカー別の魅力的な陳列。
- ・通常はショップ内の棟や通路にあり、ショップの一角をなす。
- ・豊富な品揃えで、客は好みの品を選ぶ。

雑貨店

住宅街やショッピングセンターにある多くの小売店は、対面販売が認められている医薬品や化粧品類を置いている。

- ・市販薬のみを置いている。
- ・規制や条件が厳しいため、限られた範囲の商品しか置いていない。
- ・有資格者による販売ではない。

- ・取扱商品は、オーナーの希望や来店客数/客層による。
- ・よく売れる商品に重点が置かれる。
- ・専門化していない。

* ケニアシリング (Ksh) 換算レート 1円 = 約1Ksh (2012年7月末日時点)

JETRO

Copy rights(C) 2013 JETRO. All rights reserved.



■薬局の分布

薬物毒物委員会 (Pharmacy & Poisons Board of Kenya) によれば、毎月数百の薬局が登録を行い各地で営業を始めている。ほとんどがフランチャイズとして運営されている。同委員会は、現在営業中の薬局の75%以上が、免許と営業条件を十分には満たしておらず、大半が違法営業であることを認識している。

薬局は都市の中心部と住宅街／ショッピングセンターに最も集中しており、ほとんどの地方部は恩恵を受けられずにいる。民間病院や医療施設が経営するものを除き、小さな町やショッピングセンターの薬局は、たいていの場合は在庫が不十分である。



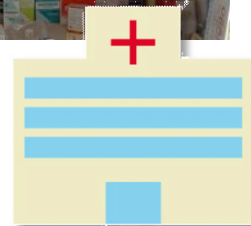
BOP層に普及している医薬品と化粧品

■国産品と輸入品

ケニアで入手可能な市販薬の大半は国産品だが、かなりの製品がアジアと欧州から輸入されており、中には米州からの輸入品もある。国内メーカーは、Cosmos、Dawa、Beta Healthcare、GSKがあるが、その他多数のメーカーが存在する。これらの国内メーカーは原材料の多くを輸入している。

流通している全医薬品の約30%が国内産で、残り70%は輸入品である(輸入額は年間2.5億米ドル超と推定される)。輸入の70%以上がアジア、特にインドとアジア(韓国、台湾、香港、シンガポール)からの輸入である。

多くの化粧品は国産だが、輸入原料で製造されている。ワセリン、石鹼、ハンドソープ、ボディソープ、ローション、ヘアケア製品、フェイシャル製品は国産が多い。国産品は約60%で、その他は、南アフリカ、中国、アラブ首長国連邦、欧州からの輸入品である。ごくわずかは米国から輸入している。国内メーカーには、Pwani Oil Refineries Limited、Unilever Kenya Limited、Interconsumer Products Limited、Haco Industries、Cursons等がある





■医薬品

ナイロビでは、処方箋なしでもたいていの薬が購入できる。BOP層が医者にかかるのは稀であり、多くの場合、市販薬を使うのが一般的である。

◆**鎮痛剤類**—一般的な痛みや不快感、特に頭痛、胃痛、腰痛、吐き気、胸やけ等の鎮痛治療薬は消費者が最も頻繁に購入する医薬品である。Hedex、Panadol、Actal Tums、Dawanol、Andrews、Eno、Calpol等、安くて簡単に入手でき、処方箋不用のため好まれている。

腫れを抑えたり、関節痛や筋肉痛を緩和したりする鎮痛剤(Balms)には、Rob、Deep Heat、Kaluma等があり、子供やスポーツマン、肉体労働者によく使用される。

◆**抗生物質**—途上国でよく見られる細菌感染の治療に用いられるため、病院で処方薬をもらえない患者は市販で売られているものを買わなければならない、よく購入されている医薬品である。Cotrimoxazole、Ampicillin、Amoxicillin等がある。他にも多くの処方薬があるが、費用の面から使用が限定的である。しかし、多くの病院では、インドから輸入された廉価で入手しやすいジェネリック医薬品に切り替えが進んでいる。

◆**抗マラリア薬**—国内の多くの地域でマラリアの流行がみられるため普通に見かける薬である。抗マラリア薬には、Fancida、cortexin等のほか、Malaratab等(国産ブランド)がある。

◆**皮膚感染症薬**—処方箋薬であるが、一部は処方箋なしで販売されている。錠剤、シロップ、軟膏がある。ブランドはCrozole-B、Sulphite B、Ketaconazole Bp等である。これらは抗菌と抗炎症の両方の効果を持つ。入手しやすく価格が手頃である。

◆**虫下し**—寄生虫駆除のため成人と子どもに投与される薬である。特に子どもによく使われる。薬局によく置かれているのは、アルベンダゾール系のZentel、Albanex、Wozel等である。

◆**避妊薬および緊急避妊薬**—ナイロビで販売が伸びている薬の一つである。処方薬で最も使用される避妊薬はFemiplanで、他には Norplant、Implanon等もよく利用される。また、特に若年層の間では、処方箋が不要なこともあり、緊急避妊薬の利用が増えている。PositronやMicroguno、Microlut等が良く利用される。家族計画法が広く宣伝・啓蒙活動がなされていることもひとつの要因であると考えられる。



鎮痛剤

鎮痛剤

鎮痛剤

抗マラリア薬

消毒薬

避妊薬



■化粧品

この分野は医薬品ほど規制が厳しくないため、営業の自由度が高い。一般的な商品としては以下のものがある。

◆石鹸、ハンド/ボディソープー化粧品の分野の主要商品で、品質、香り、サイズ、機能(抗菌、ハーブ系等)等品揃えが豊富で価格が手頃であることから、大量に販売されている。



◆美容製品ーこのグループには、美容効果を持つすべての製品とその成分が含まれる。マニキュア、ペディキュアからフェイシャルクリーム、スクラブ、パウダー/トナー、シャドウ、チーク、マスカラ、アイカー、口紅、リップクリーム、アイライナー、日焼け止め、ホワイトニング等様々な製品がある。多数のブランドがあるが、一般的なものは、Mediven、Fair n Lovely、LadyGay、Gold Touch、Cursors、Johnsons等である。



◆ワセリン、ローションー人気の商品で、種類やメーカー、目的等によって様々な種類がある。Vaseline、Versman、Solea、Nivea等の商品がある。



◆ヘアケア製品ー美しく健康な髪が重視されるため、よく使用される。トリートメントからコンディショナー、シャンプー、ヘアカラー、養毛剤、ヘアオイルまで様々な商品がある。主なブランドはVenus、TBC、Dark n Lovely、Soft and Free、Style and Bounce、Indian Hem等である。



JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。